

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

健常成人におけるインピーダンス法を用いた肺換気分布の評価および検証：既存データにおける後方視的調査

1. 研究の対象および研究対象期間

2025 年 10 月 1 から 2025 年 10 月 20 日の間に 2025 年度理学療法研究法演習の講義に参加された 2～4 年次の学生さん。

2. 研究目的・方法

呼吸機能検査項目の一つである機能的残気量（functional residual capacity :FRC）は、安静呼吸後に肺の中に残っている空気の量を指し、肺がつぶれないための大切な役割があります。FRC は姿勢変化により容易に変化するため、呼吸ケア・リハビリテーション（呼吸リハ）分野において、重要な評価項目となっています。これまで FRC の測定には、ガスを吸っての評価を行う必要があるなど煩雑であり、軽微な侵襲を伴うことから呼吸リハを行う際の臨床応用は困難でした。

近年では電気インピーダンス法を用い簡便かつ非侵襲的に肺換気分布や FRC の評価が可能となりました。これは電極ベルトを胸部に巻き、インピーダンス（電気抵抗）を利用して換気分布の画像構築を行う方法であり、呼吸リハを行う上での評価として用いられています。

2025 年度の理学療法研究法演習では上記演習を行いました。本研究では演習で得られた呼吸機能検査、肺換気分布などの情報を統計的に解析します。新たな計測を行うことはなく、対象の学生さんに直接的な負担はございません。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2028 年 3 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

 以下の情報を演習後に提出されたレポートから抽出します。

- ・ 基本属性（体重、身長、BMI、性別、既往歴）
- ・ 喫煙歴
- ・ 運動歴、運動習慣
- ・ 呼吸機能検査
- ・ 肺換気分布

- ・ 最大吸気・最大呼気位胸囲
- ・ 呼吸数

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者 昭和医科大学保健医療学部 理学療法学科 黒山 祐貴（講師）

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学保健医療学部

氏名：黒山 祐貴

住所：神奈川県横浜市緑区十日市場町 1 8 6 5

電話番号：045-985-6574